

工事看板 イメージしやすく

石巻市街地では堤防や橋梁、高盛土道路など、さまざまな工事が行われています。各現場に必ず設置されているのが工事看板です。

以前は「道路工事中」など形式的な告知のみで、何の工事がわかりづらくなっていました。

現在は「新しい道路を作っています」など工事内容を簡潔に表示するとともに、図で説明するなど工事をイメージしやすく親しみやすいものになってきています。

以前の工事看板



現在の工事看板



東部地区安全協議会が清掃活動

工事現場周辺をきれいに

石巻市街地の復旧・復興事業にかかわる施工会社は、日頃から工事現場周辺の美化に努めており、定期的に一斉清掃活動も行い、地域の環境保全に取り組んでいます。

このうち東部地区安全協議会(施工業者の協議会)は、渡波漁港長浜海岸周辺の復旧工事の現場で清掃活動を行っています。



長浜町



松原町

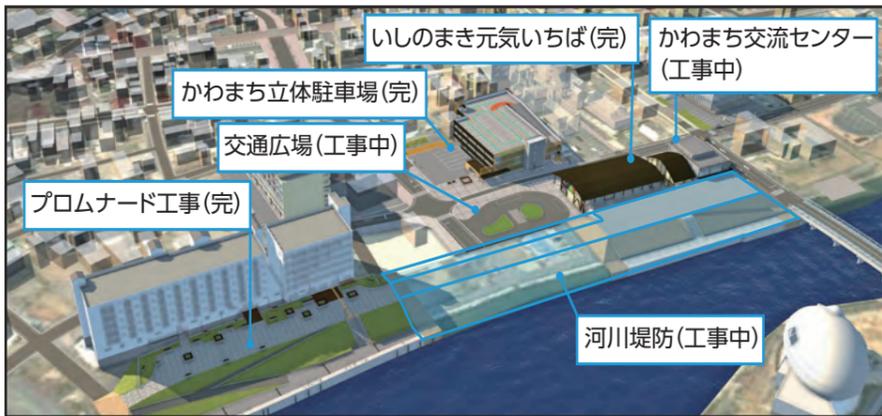
調整会議の取組

円滑な復興を目指す取組

中央地区には石ノ森萬画館や昨年6月にオープンしたしいのまき元気いちばなどの観光施設があります。

現在、その周辺では旧北上川の堤防、内海橋の架け替え、交通広場、かわまち交流センター整備などが急ピッチで進められています。

国・県・市が設立した石巻市市街地復興工事調整会議では市民生活の安全・安心を確保しながら円滑な工事のための調整を進めるとともに、できるだけスムーズに施設を訪れることができるよう復旧・復興する施設や地域イベントに配慮した工事調整を進めています。



中央地区(11番地区)周辺工事状況



いしのまき復興まちめぐりマップ

石巻市は復興事業についてまとめた「いしのまき復興まちめぐりマップ」を発行しました。

復興事業の解説と事業箇所や情報交流施設を巡るためのコースなど、市街地と半島部に分けて紹介しています。マップは市役所ほかJR石巻駅、復興まちづくり情報交流館中央館、石ノ森萬画館など、まちなかの主要施設で手に入れることができます。

歴史を伝える住吉公園界限川とともに歩んだ足跡随所に

第8回 コラム リバイブ

住吉公園界限には延喜式内大島神社(通称・住吉神社)など旧北上川と共に歩んだ足跡が随所にあります。

公園南側には雄島があり、この雄島上流側には石巻の地名の由来となった巻石があります。この巻石は北上川の開削時、川の水がこの岩にぶつかって渦巻きを作ったことからそう呼ばれるようになったと伝わっています。

また公園内に義経伝説の一つである袖の渡りにまつわる石碑も建っており、壮大な歴史に思いをはせることが出来ます。公園内に鎮座する住吉神社の起こりは不明ですが、平安時代の9世紀にその存在を記した古文書があることから、約1200年にわたり地域を見守ってきました。水難防除の神としても崇められており、夏には石巻川開きまつりの祭典行事や地域の方々によるかっぱ祭りも行われています。



義経の伝説を刻む「名蹟袖の渡」の碑。昭和29年建立とあります。



大島神社



震災前の住吉公園から望む巻石

住吉公園界限には、まだまだたくさんの歴史を伝える石碑などがあります。みなさんも石巻の歴史にふれてみてはいかがでしょうか。

(参考・神社内の石碑など)

第6回合同現場見学会のお知らせ

- 日時 7月14日(土) 午前10時～正午
 - 見学先 旧北上川築堤工事、新内海橋工事等
 - 集合場所 交通広場予定地(いしのまき元気いちば南側)
 - 定員 30名程度(要電話予約)
 - 参加費 無料
 - 対象者 原則石巻市在住者
 - 申込み先 石巻市基盤整備課 ☎95-11111 (内線517・518)
 - 受付期間 6月18日(月)～6月29日(金)
- ※当日は公共交通機関をご利用ください。徒歩での行動に適した服装でご参加ください。悪天候によるコース内容変更・中止の場合があります。